

KANDAI STYLE



今月の表紙：卒業される皆さん

特集

【卒業記念特集①】

私たち、関大で“考動”しました!

【卒業記念特集②】

大学生活、思い出の場所はどこですか？

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

“日本の良さ”を知っていますか？

【なるほど・ザ・関大!】

卒業生に贈る先生からのお薦めの一冊

私たち、関大で“考動”しました！

卒業生の皆さんに、関大で学んだことや身に付いたこと、就職先、社会に出てからの目標・夢を語ってもらいました。

NECソリューション イノベータ株式会社



環境都市工学部4年次生
伊藤 恵美さん

楽しい時も、つらい時も、一緒にいてくれる先輩と後輩、仲間がいたから、ここまで頑張れました。

よさこいサークル「漢舞」から得たものは大きかったと思います。練習は本当にハードで、活動が続けるか迷いましたが、先輩たちが引退する時に感じた「もっとみんなと一緒にいたい」という気持ちが強く、今まで続けることができました。先輩の偉大さ、後輩のかわいらしさ、仲間の大切さを感じることができ、大学生活で人とのつながりが一気に広がりました。

今後の目標・夢

プログラム作成の実習で感じた達成感と面白さ。楽しいと思えたことを仕事として長く続けていきたいと思っています。またインフラの分野にも携わり、町づくりに尽力していきたいです。

アーキヤマデ株式会社



化学生命工学部4年次生
早川 瑞穂さん

チタンニッケル合金における水素の存在状態を調べる研究に取り組みました。

春名匠教授の研究室で、歯の矯正などに使われているチタンニッケルに電位を与えて水素を発生させ、強制的に水素を入れ込み、侵入水素の状態の経時変化を追跡する研究をしていました。実験結果から新しいことが分かる、やりがいを感じました。体育会ホッケー部にも所属しており両立が大変でしたが、先生や研究室、クラブの皆さんに助けられ悔いのない4年間でした。

今後の目標・夢

屋根の防水シートなどの建築材料を研究開発するメーカーの技術開発部門で働きます。今まで勉強してきたことを生かしつつ、何かの分野のスペシャリストになれるよう頑張ります。

認可法人



人間健康学部4年次生
光山 知里さん

体育会バレーボール女子部の女子主将として、創部初の1部リーグへの昇格を果たしました。

土日はOGのコーチが指導してくださるのですが、平日は学生だけなので、勝つために何をすべきか、常に考えてチームの皆に伝えていました。主将になって初のリーグ戦で重圧からセッターとしてトスが上がらなかった時は、逆に皆に助けられました。バレー部の皆が大好きなので、このチームで念願の1部昇格を果たし後輩に引き継いで、最高の4年間でした。

今後の目標・夢

病院で事務の仕事をするので、早く覚えたいです。また、2015年開催の「紀の国わかやま国体」のバレーボール・和歌山県代表チームの強化選手として、力を尽くしたいです。ゆくゆくは指導者になれたらと考えています。

DOWAホールディングス 株式会社



商学部4年次生
大谷 萌子さん

学業と両立させ取り組んだ「KUBIC」は、充実した関大生活の思い出です。

商学部の学生のみで運営するビジネスプラン・コンペティション「KUBIC」に所属し、代表を務めました。チームの意見をまとめたのが、関係者との打ち合わせや交渉に尽力。周りの人たちと相談し、コミュニケーションを欠かさず取っていたことで、その人が考えていることを視野に入れ、的確な提案・アドバイスができるようになりました。

今後の目標・夢

就職先はB to Bの会社で、私は総合職として働きます。全てが新しいことばかりですが、やる時はしっかりと取り組み、オン・オフのメリハリをつけて仕事をしたいです。また、憧れの海外でも働きたいと思っていますので、将来が楽しみです。

金融業界



総合情報学部4年次生
山本 朋美さん

久保田真弓教授とゼミ生全員とでフィリピンにスタディツアーに行き、異文化理解とコミュニケーションを学びました。

NGOを視察したり、現地の大学生との交流や大学院生に向けてプレゼンをしたりと中身の濃い2週間でした。ホストファミリーは日本と異なる気候や習慣が負担にならないよう気遣ってくれるなど、フィリピンで出会った人々から人の温かさを学びました。ツアー前は週3〜4回集まって計画を立て、帰国後は他大学で活動報告をするなどハードなゼミでしたが、苦楽を共にしたゼミ仲間は宝物です。

今後の目標・夢

少しでも早く金融の知識を身に付け、上司やお客さまなどから頼りにされる行員になりたいです。さまざまな仕事を覚えて、幅広いどのような業務にも柔軟に対応できるようになりたいと思います。

藤井電工株式会社



社会安全学部4年次生
森脇 杏莉さん

「KUMC (Kansai University Muse for Citizen)」と一緒に成長しました。

地域交流をはじめ、防災・減災について地域の人々に広く周知するため活動する「KUMC」。その中の防災教育班でリーダーとして活動しました。小学校で展開した防災教育授業では、自分たちの工夫や一生懸命さが伝わり、今や多くの学校から授業の依頼を頂くまでに成長。積極的に行動し、挑戦することを「KUMC」から学びました。私の関大ライフ、幸せな日々でした。

今後の目標・夢

私の元氣とパワーを生かしながら、求められる仕事をしっかりとこなして成長していきたいです。また、家族や自分を支えてくれた人たちの感謝を忘れず、恩返しができるように頑張ります。

株式会社ヤッホー ブルーイング



経済学部4年次生
岸 拓郎さん

ボランティアセンターの学生スタッフ代表として、ボランティアに興味がある学生の一步を踏み出すお手伝いをしました。

18歳のときに献血をしたことがきっかけで、自分以外の人のために何かをする楽しさを感じ、学生スタッフになりました。前にボランティアに参加した学生がまた参加してくれ、他にも紹介してと言ってもらえることも多く、いろいろな人の意見や考えに出会い、「違い」を受け入れられるようになったと思います。また、代表として、スタッフ一人ひとりをきちんととることの大切さを学びました。

今後の目標・夢

30歳までに献血を100回すること、長野県に本社があるビールメーカーに就職するので、ビール市場に新しい味や新たな価値を見出して普及させていきたいです。

株式会社フジデン



経済学部4年次生
入澤 栄介さん

文化会本部長として、27団体の調整役、まとめ役として尽力しました。

最初は軽音楽部でドラムを演奏していたのですが、本部員となったことで、公平な目で全体を見て、人のために何かをする力が身に付いたと思います。相談されたことが、私の仲裁で解決したと感謝されたり、年度末の最後の総会後に色紙をもらい、「本部長が入澤で良かった」と書いてもらったことがうれしかったです。

今後の目標・夢

auの専売代理店なので、販売の仕事から始めて、会社のためにできることを精一杯やりたいです。お客様や会社の人々たちから「あなたでよかった」と信頼される人になりたいです。

公務員



人間健康学部4年次生
窪田 真衣さん

大学での学びで、サークル活動で、コミュニケーション能力に磨きをかけました。

社会福祉士を目指しながら、バレーボールサークルにも所属しました。福祉と健康コースの授業では、積極的な意見交換の機会も多く、またサークル活動の話し合いで意見が衝突した時は、自ら率先して解決への糸口を探しました。周囲の支えがあってこそ成果ですが、コミュニケーション能力を高められたことで、より信頼してもらえるリーダーシップが発揮できたと思います。

今後の目標・夢

社会に出て新しいことを学び、視野を広げ、自身のキャリアアップを目指したいと思っています。また人とのつながりを大切にしながら仕事に励んでいきたいです。

三菱商事ファッション 株式会社



商学部4年次生
沈 瀚鵬さん

「関西弁を話す中国人」ではなく、「中国語を話す関西人です」と、胸を張って言えるようになりました。

入学当時は、周りの学生となじめず苦労しました。そんな私を変えたのが、学部で所属したゼミの授業でした。人前で話すことが多く、積極的にコミュニケーションをとることの大切さを学びました。先生、仲間、恋人に支えられながらも、日本において外国人である私が、日本人学生と交流し、就活では日本人学生と対等に渡り合えたことは、私の頑張りの成果だと思います。

今後の目標・夢

入社した企業で、より多くのことを学ばせていただき、1日でも早くファッション業界で一人前になれるようにします！

家庭裁判所調査官補 「裁判所職員総合試験 (人間科学区分)に合格」



社会学部4年次生
丸山 友輝さん

エクステンション・リードセンターの公務員心理職講座を受講し、念願の家庭裁判所調査官補に合格しました。

心理学を生かした仕事に就きたくて、家庭裁判所調査官補になるべく勉強に励みました。家事事件や少年事件の当事者にカウンセリングを行い、周辺の人から話を聴き、処遇について裁判官に意見を述べる責任ある仕事です。ストップウォッチで時間を計りながら、1日10時間くらい勉強しました。合格したときは、あきらめずに続けてよかったと達成感でいっぱいになりました。

今後の目標・夢

その方の人生の転換点に関わる仕事ですので、気を引き締めて、当事者目線を大事にしていきたいと思っています。

京セラコミュニケーション システム株式会社



社会学部4年次生
大谷 智美さん

スタディ・スキルゼミのラーニング・アシスタント(LA)として、グループワークが円滑に進むようサポートしました。

1年次の秋学期から4年次まで、プレゼンを学ぶ授業のLAをしました。私が助言したことで、グループワーク中の学生の表情が明るくなったときはうれしかったです。「言いたいことを分かりやすく伝える」「自分の行動を後で振り返る」など多くのことを学びました。アメリカ・サウスカロライナ州への留学も経験し、自分から主体的に行動できるようになったと思います。

今後の目標・夢

管理部門でSEや営業の方たちの仕事が円滑に進むように、コミュニケーションをしっかりと取ってサポートしたいです。これから人との縁を大切にしていきたいと思っています。

近畿日本ツーリスト 株式会社



外国語学部4年次生
吉田 奈津美さん

世界観だけでなく、私自身も変化した留学経験でした。

スタディアブロードでニュージーランドに留学。語学をしっかりと身に付けたくて、学校の勉強に加え、現地のテニスクラブに参加しました。チームメイトも歓迎してくれて、今でも連絡を取り合うほど仲良しに。自分がやりたいと思ったことは、積極的に行動すると、意外に進んでくれるのだと実感。帰国後、学園祭の企画準備でも、留学で培った積極性を生かし、仲間の協力を得ながら大成功へ導きました。

今後の目標・夢

2020年に東京オリンピックが開催されることもあり、外国人に対して、もっと日本に興味を持ってもらえるような機会をつくりたいです。また、外国人の受け入れにより、日本人は自分の国において新たな発見ができることを願っています。

SMBC日興証券 株式会社



政策創造学部4年次生
山田 晃嗣さん

体育会馬術部の主将として、障害飛越競技団体に、創部初の全日4連覇をつかみました。

馬術は、人と馬が最高のコンディションで最高のパフォーマンスができたときに結果につながる競技です。部員が交代で厩舎に泊まり込み世話をするなど、大変でしたが、貴重な経験ができました。小4から無我夢中で打ち込んでできた馬術で、主将として壁にぶつかりながらも、周囲に支えられ、創部初の全日4連覇を成し遂げられて、大きな自信になりました。

今後の目標・夢

証券マンとして、結果を残せるよう、ビジョンを持ちそれにむしやりに突き進んでいきたいと思っています。「これだけは負けない」という自信を持てるよう、頑張ります。



【写真提供:関大スポーツ編集局】

食品メーカー



人間健康学部4年次生
黒田 隼太さん

創作ダンスを通して、変化した自分。自身で考え、動きにすることで、体も心も柔軟になりました。

創造、想像、表現。大学で始めた創作ダンスから学び、また創作ダンスには欠かせない要素です。今までは受動的で型にはまった自分。そこから飛び出し、目線を変え、意見を言うことができるようになったのは、創造力と想像力、表現力が培われた証です。また原田純子先生の指導や、仲間の存在がとても大きく、皆さんにとっても感謝しています。

今後の目標・夢

人との関わりを大切にし、今までの人脈・ネットワークをどんどん広げていきたいと思っています。また仕事でも、創作ダンス経験を生かし、より良い提案に結び付けていきます。私の表現はまだまだ続きます。

京セラ株式会社



システム理工学部4年次生
阿部 雄飛さん

自分自身の大きな変化。自らの行動と周囲の励まして手に入れました。

物事に対してネガティブで受動的だった私。「自分で世界を切り開く」と決心して、実行しました。学部のコンペティションでは発表者に立候補。学内2位の成績を収めました。研究室では周囲を盛り上げ、就活ではこれまでの努力を評価していただき、第一志望の企業に内定。学外・学内行事にも積極的に参加しました。「自分の人生を180度変えることに成功」—大学生活での収穫です。

今後の目標・夢

技術者として革新的なことを起こし、歴史に名を残すこと。また、自分を支えてくれた多くの人たちに恩返しをしたいです。

関西大学博士課程後 期課程に進学



総合情報学研究科M2生
吉田 直人さん

直接触れ合うことができない人にも、動物による癒やしを与えたいとの思いから、ロボットに「存在感」を生み出す研究に没頭しました。

ぬいぐるみなどに、体温や心拍、息をさせるなどのプログラムを1から考えて作り出し、生きたペットのように感じてもらえるロボットの研究をしています。研究室では環境にも恵まれ、「存在感」のあるプロジェクトマッピングやバーチャルエージェントのアイデアを形にする研究にも意欲的に取り組みました。使う人の視点で、物事の本質を見ることがの重要性を学べたと思います。

今後の目標・夢

人工物の「存在感」を人に伝える研究と開発を続け、将来的には、実際に製品化されて一般の方にも使ってもらい、驚きと癒やしを提供したいです。

航空業



社会安全学部4年次生
松永 駿さん

社会安全隊で仲間と共に成長し、心身を鍛えました。

「人のためになることをしたい」。そんな思いから安心・安全を守る「社会安全隊」を立ち上げました。警察ボランティアではひったくり防止などの啓発活動を実施。また災害ボランティアでは豪雨被災地に赴き、マンパワーを発揮しました。多くの団体や地域の人と関わり、意見を出し合う中で、相手の立場に立って考えることが身に付きました。

今後の目標・夢

これから人のためになれることを探し、社会貢献につなげていきたいです。毎日が充実した日々になるようにしていきます。

平野義明教授研究室

化学生命工学部4年次生
竹内 万純さん



左から寺田峻華さん(研究室の友人)、竹内さん、平野教授、金原めぐみさん(研究室の友人)

この研究室では、タンパク質のもととなる20種類のアミノ酸をいろんな配列に組み合わせたペプチドに着目しています。私は、そのペプチドが細胞に与える影響を解明する研究を行いました。思うような結果が出ずまいかないこともありましたが、先生からアドバイスをいただいたり、実験結果を研究室の仲間と見せ合って意見交換したり、毎日の大半を過ごしたこの研究室は、これからの支えになるたくさんの思い出が詰まった場所です。

サークルのボックス

法学部4年次生
田中 麻貴さん



右はサークルの後輩の村尾拓哉さん

「チャレンジャー」というボランティアサークルに所属し、月に1、2回、盲学校や障がい者施設に行って、餅つき大会やクリスマス会など、さまざまなイベントのサポートや交流を行ってきました。このサークルのボックスは、ボランティア活動に関するミーティングのときだけでなく、昼休みや授業の合間の時間には、ご飯を食べながら先輩や後輩、同級生と楽しく話ができる、心安らく場所でもありました。

中央グラウンド脇の鉄棒

理工学研究科M2生
勝山 拓磨さん



左から岸田和久さん(研究室の後輩)、勝山さん、石原孝芳さん(研究室の後輩)、稲垣伸一さん(研究室の友人)

ある日の昼休み、突然逆上がりの話題になり、研究室の友人たちと行き始めたこの場所。今では研究室内で「鉄棒部」を創部し、2日に1回は必ずここに来て、30分程度、懸垂や逆上がりをしていました。研究活動で忙しい毎日の中で、とてもいい運動やリフレッシュになりましたし、ここで交わした研究室の同級生や後輩との何げない会話は、みんなとの友情を深める素晴らしい時間でもありました。

100周年記念会館

東アジア文化研究科M2生
姜 欣さん



秋学期入学でしたので、入学式や、留学生の交流イベントなども行われ、楽しい思い出は常に100周年記念会館と一緒にあります。私は日本軍人が使用していた簡易な中国語である「兵隊中国語」を研究しているのですが、100冊ほどの本や資料を整理し、調査しています。根気のある作業なので、留学生の交流イベントがとても息抜きになりました。交流イベントは各国の留学生や日本人の学生もたくさん集まり、そこで多くの友人ができました。



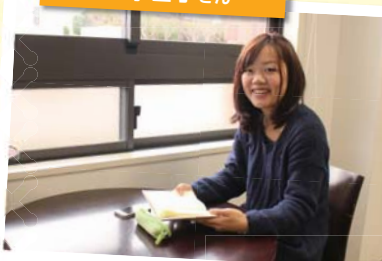
国際交流フェスティバル(千里万国博覧会)



留学生交流パーティー

一学舎の学生談話室

政策創造学部4年次生
島崎 智子さん



お昼休みや休み時間、空き時間などは、ここに集まって皆でおしゃべりをしたり、勉強を教え合ったり、お弁当を食べたり、いつもにぎやかでした。友達の誕生日にサプライズでお祝いをしたこともあり、笑っている思い出がいっぱいの場所です。ここに来れば誰かに会える、政策創造学部は横のつながりが強く、皆とても仲良しなのですが、この場所が一役買っているのではないのでしょうか。勉強は大変でしたが、この学部でよかったと心から思います。



【卒業記念特集②】

大学生活、思い出の場所はどこですか？

千里山キャンパス総合図書館

文学部4年次生
吉川 由希子さん



中学時代から図書委員をしていたことから、大学図書館の学生スタッフ「KUコアラ」に入会し、代表を務めました。学生目線の図書館づくりを目標に活動し、蔵書の紹介や活動団体の紹介・展示などを企画しました。思い出の企画は、映画「天地明察」放映企画です。主人公で江戸時代の天文学者、渋川春海に関連する本を集め、特設コーナーを作りました。初めて携った企画ながら多くの学生に本を借りてもらえて、達成感を得ました。

高槻ミューズキャンパス6階学生控え室

社会安全学部4年次生
浅笠 安希子さん



1年次から3年間、社会安全学部の祭典実行委員をしていたのですが、この場所でも、打ち合わせや実際の作業を行っていました。企業の方との交渉などのやり取りを経験し、さまざまなことが学べました。また、テスト勉強もここでしていたのですが、一緒に勉強し合うことで新しく友達ができたり、他にも、先輩に就活の相談や面接の練習をしてもらうなど、教室よりもここで過ごした時間の方が長いくらいで、大変思い出深い場所です。



安全フェスティバルの様子

悠久の庭

社会学部4年次生
石黒 早紀子さん



右は妹尾宗一郎さん(KBCの友人)

大学に入塾して初めてできた友達と、初めて昼食を食べたのが悠久の庭でした。天気の良い日にはたくさんの園大生が集まり、私が所属していた放送研究会(KBC)が行う昼休みの生放送は、悠久の庭をはじめとする千里山キャンパス各所で流れます。放送で流れている曲を口ずさんでくれている学生を見て、番組制作により力が入りました。季節ごとにさまざまな表情を見せてくれる悠久の庭と、そこに集まる学生の顔が大好きです。

高槻キャンパスC棟

総合情報学部4年次生
東 賢治さん



実習教室用としてパソコンが使える部屋が15室もあるC棟で、空き時間や休憩時間など、多くの時間を過ごしました。パソコンを使用する課題が多かったので、友人たちとここで相談し合ったり、ネットを見ながら談笑するなど、居心地の良い空間でした。Premiereという高価な動画編集ソフトを使って、友人の誕生日プレゼントに、他の友人たちとメッセージをつなぎ合わせて、音楽や文字を入れた動画を作成して贈ったことなど、楽しい思い出です。

プロジェクトアドベンチャー(体験学習エリア)

人間健康学部4年次生
森岡 雅勝さん



3年次生になり、安田典典准教授ゼミに入ったころからプロジェクトアドベンチャーを使用した授業が始まりました。上に登る学生の命綱を下の学生が担当するため、この実習を通して、チームワークや相手を思いやる心が身に付きました。さらに、1、2年次生が受講する授業や、オープンキャンパスや高大連携授業に参加する高校生にもレクチャーを行うなど、人間健康学部での大学生活において、忘れられない場所になりました。

みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

“日本の良さ”を知っていますか？

協調性があり、相手の歩調やテンポに合わせる事ができること。
(法2・男子)

四季があって、それぞれの季節ごとに風物を愛でる風習があるところ。
(文3・女子)

外国の文化を日本風に取り入れるところ。ハロウィンやクリスマスなど、気軽にイベントを楽しめる。
(商1・女子)

落とし物をしても高確率で返ってくるといった、他人に対しての思いやりがあること。
(社2・女子)

国民のモラルに対する意識の高さ。
(情3・男子)

マナーに厳しいが、融通が利かずユーモアがないこと。
(法3・男子)

政治に関心がなく、私たち若者が全く政治に関与しようと思わないところ。
(文2・女子)

他国の語学に無頓着な人が多い点と、自分の意思ではなく、マスメディアなど他人の意見に左右されやすい点。
(経2・女子)

他人と違うことを言ったらダメな雰囲気があるところ。
(情1・女子)

意見をはっきり言うと言われるところ。
(化生2・男子)

Q.日本(日本人)の良い所・悪い所は？

昔の文化や伝統を大事に守っていて、その魅力を見せるのが素敵だと思います。
(経2・男子)

マナーが良くて、真面目な人が多いです。そしてトイレがきれいです。
(商3・男子)

多くの人が親切で、礼儀正しい。仕事に対して強い責任感を持っているところ。
(商2・女子)

親切で、人に迷惑を掛けないように気を配っているところ。
(社1・男子)

道がきれいし、電車やバスもとても便利。食べ物もおいしい。
(シス理1・男子)

悪い所は少ないと思うが、自然災害が比較的多いことは良いとはいえないと思う。(文4・男子)

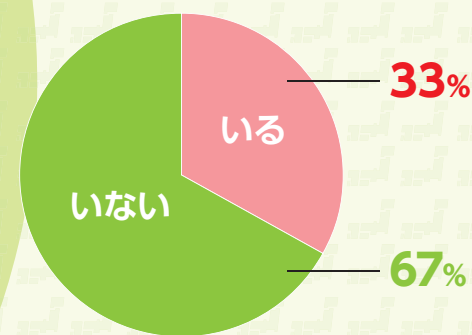
日本人は思ったことをはっきり言わない人が多いから、誤解が生じてしまうことが多いと思う。(経2・女子)

若者が冷たいと思います。日本人は他人と距離を置き、日本人の友達ができにくいです。(社1・女子)

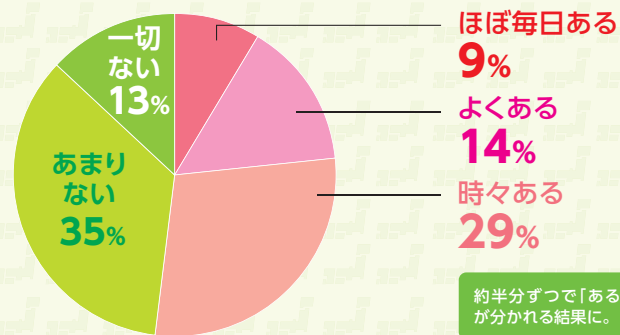
タクシーが高すぎると思う。電車も深夜1時か2時ぐらいまで運転してほしい。(シス理1・男子)

表は親切に見えますが、本音で友達になるのは難しいと思います。(ガバナンス研究専攻M1・女子)

Q.外国人の親しい友人はいますか？



Q.普段の生活の中で、外国人と接する機会はありますか？



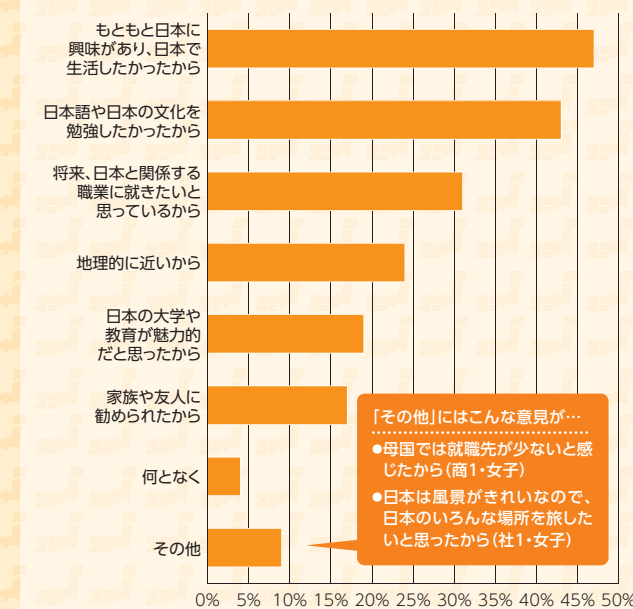
約半分ずつで「ある」と「ない」が分かれる結果に。

Q.外国人と接する際に、気を付けている(気を付けるべき)ことはどんなことですか？

学部・学年	性別	回答
法1	男子	できるだけ結論から言うようにしている。過程はあまり話さない。
文2	男子	単純明快な会話と、「表情」「視線」「ジェスチャー」が、人と接する上では基本であると常日頃感じています。
文1	女子	「雰囲気」だけで分かってもらおうとしない。言葉を使ってなるべく具体的に述べる。
社2	女子	「外人」と言わないこと。「外国人」です。言葉の壁は、まず考えない。対等に話す。
シス理2	男子	日本の文化と、外国人の文化の違いによる誤解がないよう、自分の言動に対する外国人の反応を見ること。



Q.留学先を日本に決めた理由・きっかけを教えてください。(複数選択可)



「その他」にはこんな意見が…
●母国では就職先が少ないと感じたから(商1・女子)
●日本は風景がきれいなので、日本のいろんな場所を旅したいと思ったから(社1・女子)

Q.日本に来て一番困ったことは、どんなことですか？

学部・学年	性別	回答
文2	女子	時間管理です。学費、生活費も自分で出すので、アルバイト、勉強の時間をうまく配分することができません。
経2	女子	心から通じ合える日本人の友達ができないこと。
商2	女子	敬語の勉強をするのが難しかったです。
政策1	男子	さまざまな契約手続きをするとき、母国ではもう成人なのに、日本ではまだ未成年だと言われて契約を断られたとき。
会計研究科1	女子	体調が悪かったとき、家の近くの病院は全部閉まっていた。薬局へ問い合わせして、高い薬を買っても結局改善できず、翌日また病院に行きました。

Q.日本に来て、日本人にやってもらってうれしかったことは、どんなことですか？

学部・学年	性別	回答
経2	女子	初めて日本に来て道に迷ったとき、熱心に教えてくれたこと。
商3	女子	アルバイト先の人が、私のエントリーシートを添削してくれて、さらに関連資料を加えて改善点と意見を教えてくれたこと。
商2	女子	外国人だということを忘れて、普通に友達になってくれたこと。
シス理2	男子	勉強で分からないことがあって、日本人の学生に聞くと、いつも詳しく説明してくれた。
外国語教育学研究科M1	男子	引っ越しを手伝ってくれたり、クリスマスプレゼントや誕生日プレゼントをもらったこと。



OPINION OF PROFESSOR 国際部 澤山 利広 教授

終戦直後の1946年に出版されたルース・ベネディクト著『菊と刀』は、アメリカ文化人類学史上初の日本文化論です。日本文化の固有性を文化相対主義的視点、すなわち全ての文化に優劣はなく、平等に尊ばれるべきという見地に基づき、恩や恥、義理、そして礼節などに求めています。

アンケートの回答の中にも日本人の良い所として挨拶、親切などの礼節に通

じる言葉が見受けられます。礼は相手を尊敬した丁寧な行いであり、節は時と場合に応じた振舞いやわきまを意味します。

他には、「日本人は思ったことを言わない」という類の回答が複数あります。留学生もそう思っており、他の学生も認めているのは興味深い所です。『菊と刀』の「日本人は他人の判断を基準に行動する」という指摘を連想させます。

グローバル化したキャンパスでは、互いの触れ合いの中で、自身のアイデンティティを確認し、自文化を再発見することができます。そして自らが誰とも異なる存在であることに気付いた時、文化相対主義的視点の価値が腑に落ちるはず

次号のテーマは…「統一地方選挙を考える」

4月12日(日)・26日(日)は統一地方選挙の投票日です。

近年、若年層の投票率低下が話題になっていますが、関大生はどのくらい選挙に関心を持っているのでしょうか。次号(4月号)では、「選挙」への関心、また「統一地方選挙」への知識について、関大生の考えを調査します。

3月号「関大誌上教室」アンケート プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「日本の良さ」を知っていますか?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(3月17日に通知予定)。
「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いします。



理事長
池内 啓三

「温故知新」卒業する皆さんへ、はなむけとして、「故きを温ねて、新しきを知れば、以て師と為るべし」という孔子の言葉を贈ります。

我が国の歴史や文化、社会をしっかりと理解することは、グローバルに活躍する上で不可欠です。

この本の著者は、おそらく同じような考えから、今から120年も前に英語で日本の文化・思想を西欧社会に紹介しました。押し寄せる西欧文化の波にのめられるのではなく、その中で、日本人としていかに生きるべきか。

『代表的日本人』



内村鑑三 著・鈴木範久 訳
岩波文庫

今なお、示唆に富んだ名著であると思います。西欧の政治家が尊敬した「代表的日本人」に学べば、おのずと世界の中で日本人の果たすべき役割が見えてくるのではないのでしょうか。

この本は、平成25年度併設高等学校卒業生への贈呈図書としても、選定しました。機会があれば原書（英文）でも読んでみてはどうでしょうか。

グローバル化の荒波の中で、試行錯誤する状況になったとき、手元に置いて一読してほしい一冊です。



図書館長
外国語学部教授
内田 慶市

エドガー・アラン・ポー「盗まれた手紙」一謎解きのすめ

最近では弁証法などという言葉はあまり聞かれなくなりました。しかし、今の時代にこそ弁証法というものの見方・考え方は必要だと思います。弁証法の一つの考え方は「あれもこれも」というものです。ともすれば「あれかこれか」という二者択一を迫りがちですが、それが多くの諍いの根源でもあると私は考えています。「嘘から出たまこと」「負けるが勝ち」のように物事には常に両面があり、しかもそれは相対的なものであるという基本的な

『盗まれた手紙』



エドガー・アラン・ポー 著
国書刊行会

考え方が弁証法です。STAPの「剽窃」なども、科学における「模倣と創造」の弁証法的関係つまり「模倣が創造を促すときに模倣と認定される」ことをまるで分かっています。

さて「盗まれた手紙」は、手紙を盗んだ人も、隠された場所も自明なものに見つけられないという事件をデューパンが解決するのですが、そこで述べられているのは弁証法そのものです。「隠すために隠さない」「物事の本質は単純である」というデューパンの言葉は至言ですし、一般常識から疑って、「通説を鷗呑みにしない」ことを私たちに教えてくれています。



総合情報学部副学部長・教授
桑原 尚史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4年間の大学生活はいかがだったでしょうか。

さて、私が、卒業する皆さんに推薦する本はクリストファー・ロイド著の『137億年の物語—宇宙が始まってから今日までの全歴史』宇宙が始まってから今日までの全歴史』という本です。この本には、この星がいかに生まれ、そこに生命がいかに誕生し、その中から人がいかに進化し、そして、人がいかに助け合い、また争い、この世界を築いてきたのかを平易に書かれて

『137億年の物語』

宇宙が始まってから今日までの全歴史』



クリストファー・ロイド 著
文藝春秋

います。転換する世界を理解し、その行く末を考えると、刹那に生きる我々には、このような自然史や人類史をも包摂した歴史認識が求められているのではないのでしょうか。

また、皆さんが「いかに人生を展開せざらむ」（萩原朔太郎）と思い悩んだとき、この本を読めば、その壮さゆえに「はかなき愛い」を束の間夜風の中へと吹き飛ばすことができるかもしれません。

—— なるほど・ザ・関大! ——

卒業生に贈る先生からの

社会に出る卒業生へのはなむけとして、先生方からお薦めの本を



経済学部教授
中澤 信彦

卒業生の皆さんの多くは、この4月から企業で働き始めることで、社会人・職業人としての最初の一歩を踏み出しますね。入社後しばらくの間は、会社から与えられた仕事に対して、それがどんな内容であれ、ひたむきに、がむしゃらに取り組んでほしいと思います。そのひたむきさ、がむしゃらさは、いつしか自信へと変化してくれます。もしなかなか自信が手に入らず不安や疑問を感じることが増えてきたら、ぜひこの本を手にとってください。この本は「やり過ぎ」「尻ぬぐい」「泥かぶり」といったマイ

『できる社員は「やり過ぎ」』



高橋伸夫 著
日経ビジネス文庫

ナス・イメージのまわりついたキーワードを手がかりにして、日本の企業の本当の強さと希望に満ちた未来を描き出しています。将来の「見通し」がきつと手に入るはずで。

一人の人間が社会の中で評価されるようになるまでには、長い時間がかかります。短期的な評価に一喜一憂せず、長期的な観点から物事を考えるようにしてください。

Slow but steady wins the race.



社会安全学部助教
城下 英行

卒業生・修了生の皆さんに心からお祝い申し上げます。

皆さんは、卒業後、大学で学んだ者としての役割が期待されることと思います。それは、決して特権的なものではありません。大学で学んだことに誇りがあるのであれば、ぜひとも、それを他の人に分かちてもらふ努力を惜しまないでほしいと思います。それは、私が専門とする防災の問題もそうですが、世の中にある問題の多くは、狭義の科学だけでは解決できないからで

『木のいのち 木のこころ（天・地・人）』



西岡常一 著・小川三夫 著・塩野米松 著
新潮文庫刊

す。こうした問題の解決には、多様な立場の人々の協力が必要で、皆さんには大学で学んだ者としての貢献が求められていると思います。

そこで、皆さんの卒業に際し、『木のいのち 木のこころ』をお薦めしたいと思います。宮大工の西岡常一さん他が書いたもので、職人の世界の一端を知ることができ一冊です。大学とは異なる世界への視野も広げてみてください。

お薦めの一冊

ご紹介いただきました。



社会学部教授
片桐 新自

自分の本をあげるというのもずうずうしいと思われそうだが、大学を卒業していく若者たちに読んで欲しい本をいろいろ検討したが、この本が今一番よいと心から思えたので、お薦めの1冊とさせてもらった。

今、私が若い人たちに学んでほしいと強く思っているのは、戦後の日本の歴史だ。いい面も悪い面も含めて、今なぜ日本はこのような社会になっているのかを、戦後史を学ぶ中で知ることが大切だと考えている。ただ、あまり古過ぎる時代のこと

『不透明社会の中の若者たち—大学生調査25年に見る過去・現在・未来—』



片桐新自 著
関西大学出版部

は実感が湧きにくいだろうし、政治史、経済史などでは難し過ぎてとつつきにくいだろう。

しかし、この本なら、バブル経済時代の1987年から東日本大震災後の2012年までという最近25年間を対象に5年おきに大学生を調査し、時代の変化が若者の価値観をどう変えてきたかをデータに基づき語っているの、若い人たちにも読みやすいだろう。

この本を携えて、日本社会の過去・現在・未来を卒業後も考え続けてほしい。



環境都市工学部教授
芝田 隼次

手元にあった「スティーブ・ジョブズ全発言 世界を動かした142の言葉」桑原晃弥著、PHPビジネス新書を取り上げる。スティーブ・ジョブズ氏は21歳でアップル社を設立し、56歳で亡くなるまでコンピューターと関連事業で活躍した誰もが知っている天才である。決して良い大学を卒業したわけではない。熱意と努力でなし得たことである。誰もが思いつかなかったアイデアを製品化して、マッキントシュ、iMac、iPod、iPhone、iPadなどを生み出した人である。多くの学生がスティーブ・ジョブズ氏の製品の愛好家であると思う。多くの

『スティーブ・ジョブズ全発言 世界を動かした142の言葉』



桑原晃弥 著
PHPビジネス新書

製品とともに多くの意味深い言葉を残している。そのいくつかは下記の通り。

- 好きだと心の底から思い込め
- 模倣は楽だが、そんなことで世界はよくならない
- 世界を変えるチャンスに賭けないのか
- いつも思い通りに進むとは限らない
- よい製品は情熱的な人からしか生まれない
- 即戦力になる人材は存在しない などなど。

これ以上に加える言葉はない。皆のご活躍を願うものである。



学長
環境都市工学部教授
楠見 晴重

本書は、ローマ在住の塩野七生がさまざまな資料を駆使して書いた全15巻に及ぶ歴史文学である。ローマ帝国は紀元前後から数世紀にわたって、北アフリカから、中東に及び強大な帝国を形成し、現在のヨーロッパの原型を形作った。本書では各時代をけん引したローマ皇帝などに焦点をあて、いかにしてローマ帝国が創られ、発展し、そして衰退していったのかを壮大なスケールで描く。中でも第10巻「すべての道はローマに通ず」は、私の専門にも近いこともあって興味深い。帝国の平和



人間健康学部教授
黒田 研二

「死をどう生きるか」は、人生をどう生きるかに関わっている。日野原氏は2015年時点で103歳であるが、日本医学会総会で記念講演を行うなど充実した人生を送っておられる。この本は著者が70歳代に書かれたもの。内科医である著者が主治医として看取った人びと、自分の両親など22人の人生と死を描いている。

「生とは何か、死の受容とは何か。真摯に生きた人びとに学ぶ」、そのような姿勢で書かれた本である。日野原氏にとっては結核で亡くなった16歳の少女も、96歳の禅学



化学生命工学部教授
幸塚 広光

今さら何をと言われても、ドストエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」を推薦しないわけにはいきません。これを読むことなく一生を終えるなんて！

好色漢の父親フォードル、激情の長男ドミートリー、知性の二男イワン、愛の三男アリョーシャが織りなすこの物語。父親が何者かに殺されてドミートリーに嫌疑がかけられるのですが、めくるめく愛憎劇が、ドキドキハラハラ感を伴いながら神・人間・愛という問題をこれでもかと深く掘り下げます。登場人物を愛さずにはいられない

『ローマ人の物語』



塩野七生 著
新潮社

（バックスロマーナ）を維持するためのインフラストラクチャーをテーマにしている、帝国の維持と土木技術とが親和的に関わって発展したことを詳細に描いている。かなりの大著ではあるものの、グローバル化しつつある社会に漕ぎ出す諸君には一読を勧めたい。古代ローマと現代社会の共通点に気づき、さらに我々が大きな時間の流れの中にいることも気付くだろう。そして読後の達成感と満足感も得難い経験である。

『死をどう生きたか 私の心に残る人びと』



日野原重明 著
中公新書

者もひとしく師であった。私は、この本を30年ほど前に読み、生きること、死ぬことの意味を自問する習慣が付いた。こうした問いに簡単に答えを得ることはできないが、折に触れてこうした問いに立ち返ることは重要である。

日野原氏にはたくさんの著書があり「生きた上手」等はベストセラーになった。併せて読むことをお薦めする。人生を有意義なものにするためには、「真摯に生きた人びとに学ぶ」に如くはない。

『カラマーゾフの兄弟』



ドストエフスキー 著・米川正夫 訳
岩波文庫

というドストエフスキーの小説の特質がこの小説では際立っていて、読者は好色漢の父親をさえ愛さずにはいられなくなります。長大なこの小説を読み終えた何年か後にも、無作為に開いたページからは登場人物がすくっと立ち上がり、活動を始めるでしょう。

「こんなにいいものがある」という確信は、人の世に絶望しそうな時にも、或る種の落ち着きを与えてくれます。私は米川正夫訳の岩波文庫版が好きですが、皆さんはどうでしょうか。

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

「失敗」を恐れず「挑戦」を!

法学部卒業生、法学研究科修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。「失敗」を悪いことのように捉える人が少なくありませんが、失敗をしないのは何事に対しても「挑戦」していないからではないかと思います。新しいことに「挑戦」して初めて、学べることはとても多いと思います。ぜひ「失敗」を恐れず、新しいことに果敢に「挑戦」していただければと思います。社会でご活躍されることを、教職員一同お祈りしています。

(教学主任 田中謙教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

被災者支援活動の報告会を実施

昨秋、福島県で被災者支援の活動をした学生が、1月下旬に学部の授業の中で報告会を実施しました。除染の実態、風評被害の深刻さなどをレポートすると同時に、農家が自立するための提案も行いました。農業の現場と都市部の消費者を直結しようという試みです。現地の実情を伝え、一緒に考えることは大切な支援の一つです。学生は教員と2月にも現地を再訪し、支援活動を行いました。

(深井麗雄教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

卒業生へー学歌にのせてー

卒業おめでとう。とは言いながら、実は皆さんの多くは、楽しかった大学生活を惜しんで「もっと関大にいたかった!」と悲しんでいませんか。当然です。何しろ関大というのはたぐいなき学園であって、皆さんの美しい青春の1ページは、ひとまず閉じられてしまったのです。ですが皆さんはまだ、人生の曙に立ったばかりの、大人のなりかけです。輝く未来の理想を胸に抱き、一途に、純に、これから励まねばなりません。母校をたって行く若き心たちよ、さようなら、応援しているぞ、また会おう!

(副学部長 友谷知己教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

卒業後の学びに向けて

ご卒業おめでとうございます!皆さんは、4年間で語学力を含むさまざまな力を身に付けたと思います。4月から、早速その力を生かして仕事をする人も多いと思います。その一方で、中には4年間で学んだ言語から離れた生活を送る人もいることでしょう。そもそも語学とは、一生かかってでも完全に究めることができないものです。自分の「母語」でさえ、作家のように書いたり、落語家のように話したりするのはなかなか難しいものです。だからこそ気楽に考えて、細く長く続けていってほしいと願っています。

(小田桐奈美助教)

経済学部／経済学研究科

卒業する皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、7専修制、ゼミ・卒論必修といった経済学部カリキュラム改革のもとでの第1期生となりました。とりわけ卒論の執筆は大変だったかもしれません。しかしそれは学生時代の終わりにふさわしい思い出の一つとなったのではないのでしょうか。また、卒論で自分自身の学生時代に幕引きをしたというのも、大変意義深いことだと思います。この自信やさまざまな思い出を胸に、社会人として羽ばたいてください。

(学部長 良永康平教授)

人間健康学部／人間健康研究科

人生のコメンメント

人間健康学部卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業式のことをアメリカではCOMMENCEMENTといいます。COMMENCEMENTはもともと「開始」という意味。そう、大学生活が終わったことよりも、新しい生活に一步踏み出すことに力点を置いた前向きな言葉、まさに「門出」って感じですね。モラトリアムの人生はここでおしまい、本当の人生へ向かって門出するのです。楽しくもあれば非常に厳しくもある人生、大きな幸福に向かって、さあ、たくましく、おおらかに歩みを進めよう!

(学部長 森下伸也教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

学問を修める最終段階(理工系3学部・理工学研究科の卒業)

年度末を目前とした1月・2月、理工系3学部および理工学研究科の皆さんにとっては、いよいよ実社会に羽ばたくための最終段階を迎えます。この時期は、学部4年次生、博士課程前期課程2年次生の皆さんにとって、卒業論文や修士論文の執筆、公聴会の準備に追われる時期となります。3月20日(金)・23日(月)には、卒業式・修了式が挙行されます。全学部卒業生約6,200人のうち、システム理工学部:約470人、環境都市工学部:約330人、化学生命工学部:約

350人が卒業し、理工学研究科からは、約320人が修了します。これまで本学の研究室で学んだことが、実社会で試されることとなります。さらに高度な能力や技術を身に付けるために、研さんを重ね、大きく飛躍されることを心から期待しています。3月28日(土)には、千里山キャンパスでオープンキャンパス(フレッシュキャンパス)が開催されます。本学では、年3回、高校生向けのオープンキャンパスを開催していますが、多くの新高校3年生の皆さんにとっては、この

オープンキャンパスが大学とのファーストコンタクトとなります。当日は、「学部別相談コーナー」「入試相談コーナー」「キャンパスツアー」などが設けられ、高校生にとっては、自分の将来像を具体的に考える良い機会となることでしょう。在学生の皆さんは、このころ抱いていた気持ちを思い出し、初心を忘れることなく、大学生活を充実したものにしてほしいと思います。

(環境都市工学部副学部長 山本秀樹教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

学びの意味 ～旅立ちにあたって

多くの卒業生の皆さんは、これからビジネスの世界で活躍されると思います。商学部はビジネスについて学ぶ学部。しかし、おそらくはこれまで4年間学んできたことが全く通用しないという経験を、皆さんはこれから毎日のようにされるでしょう。大学生活は無意味だったのでしょうか。われわれはそうは思いません。皆さんが気付かないうちに、皆さんの考え方や行動には商学部で学んだことが必ずや反映している。そしてそれが生かされるときが、いつかきっとやって来る。健闘を祈ります。

(学部長 杉本貴志教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

卒業生の皆さんへ

卒業おめでとうございます。晴れてこの日を迎えた卒業生の皆さんは、希望に満ちてこれからの新生活を夢見ておられることでしょう。大学4年間の学問との出会い、師との出会い、本との出会い、そして友人との出会いなど、全てがそれぞれの人の大きな財産になっています。さあ、いよいよ社会に出て、学び培ってきたことを試すときです。自分の持つ個性とオリジナリティーを大切に、そして自分自身が経験した全てのことを生かして、これからのグローバル時代の社会人として大活躍されることを心より祈っています。

(学部長 上島紳一教授)

社会学部／社会学研究科

卒業生の活躍を祈ります

卒業おめでとうございます。多くの皆さんが、もっと学生生活を続けたいと願っているかもしれませんが、やり残したことがたくさんあって、まだ続けたいと望んでいるのでしょう。けれども、大学生活で、多くのことを実現し、多くのことを学んだと思います。皆さんは今後50年ほど仕事をすることになるでしょう。4年間で学んだことは、この長い引退までの期間の基盤になるはずで。活躍を期待します。基盤の再確認が必要になったら、いつでも社会学部を訪ねてください。

(学部長 舟場拓司教授)

社会安全学部／社会安全研究科

社会安全学部卒業生の皆さんへ

ご卒業おめでとう。これまで皆さんが受けてきた講義や演習は、実社会のさまざまな局面のエッセンスを取り出し、学問として再構成されたものです。そのためそのままの形で社会に適用するのは非常に難しいことでしょう。実事象の問題点を見極め、そして問題解決は、広い視野と柔軟な思考なくしては達成できません。与えられた仕事に単に流されるのではなく、皆さんが所属する組織・社会において新しい地平を開いてくれるよう、期待しています。

(学部長 小澤守教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

公認会計士の合格者が過去最高

2014年12月20日に、公認会計士試験の合格祝賀会が開催されました。会計専門職大学院からは、過去最高となる13人(うち在学生4人)の合格者を輩出できました。合格者の総数が近年では減っている中で、会計専門職大学院からの合格者が増えていることは、大きな成果といえます。また、合格者による監査法人の就職活動も順調に進みました。これからも優秀な会計専門職業人の養成に向けて、努力を重ねていきたいと思います。

(入試主任 大西靖准教授)



併設校トピックス

関西大学北陽高等学校

夢中になれること

卒業おめでとうございます。これからも、将来の夢や目標に向かって努力してください。私たちの行動の原動力となるのは欲求です。自分自身を成長させ、喜びを感じる自己実現の欲求によって行動することが、最も人間らしい生き方になると思います。そのような生き方をするためには、夢中になれることを探さなければなりません。夢中になることでも、それが他者から与えられたものか、自分で作り出したものかによって、満足感は違ってきます。夢中になることを探すこれからの数年間は、心の成長期で将来の充電期間でもあります。ああでもない、こうでもないと迷う青春時代こそ、人生で最も豊かな時代だと思います。

(北陽高等学校教頭 田中敦夫)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2015年3月31日をもって関西大学を去られる専任教員職員を紹介します。

文学部	川神 傳弘
	坂本 武
	高橋 隆博
	武市 修
	豊田 真穂
	浜本 隆志
	溝畑 寛治
経済学部	八亀 徳也
	藪田 貫
	清水 崇
	若森 章孝

商学部	川上 智子
社会学部	三谷 真
	山口 誠
政策創造学部	亀田 健二
	孝忠 延夫
	深井 麗雄
人間健康学部	澤田 有希子
	松阪 崇久
システム理工学部	飯田 幸雄
	緒方 正則
	中原 住雄

システム理工学部	久田 重善
環境都市工学部	伊与木 茂樹
	芝田 隼次
	堂垣 正博
化学生命工学部	上里 新一
	越智 光一
	白岩 正
会計専門職大学院 (会計研究科)	宮本 勝浩

(敬称略)

大変お世話になりました。ありがとうございました。

関大トピックス

卒業生の皆さんへのお知らせ

■校友としての図書館利用について

卒業生の方は、手続きをすれば卒業後も関西大学の図書館を利用できます。詳しくは図書館ウェブサイトの「卒業生・学外の方へ」(http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/non_member)をご確認ください。

図書館メインカウンター
問い合わせ先 電話:06-6368-0266

■「進路決定報告」と後輩の就職支援サポートにご協力ください

卒業後の「進路決定報告」がまだの方は、至急キャリアセンターまで報告をお願いします。

また、キャリアセンターが運営している「卒業生フォーラム」では、後輩の就職活動をサポートしてくれる先輩を募集しています。ぜひ登録をお願いします。

「卒業生フォーラム」URL:
<http://jump.cx/iq11d>

なお、卒業後も就職活動を続ける卒業生へのサポートも、引き続き行っています。お気軽に相談にお越しください。

キャリアセンター/
卒業生就業支援室
問い合わせ先 電話:06-6368-0162

■資格取得で卒業生のキャリア形成を支援

エクステンション・リードセンターでは、各種資格取得を通して皆さんのキャリア形成をサポートするために、一般の方より安価な卒業生料金で受講できる対策講座を多数開講しています。思い立った際には、ぜひエクステンション・リードセンターへ詳細をお問い合わせください。

エクステンション・リードセンター
問い合わせ先 電話:06-6368-0721

■奨学金の返還について

奨学金の貸与を受けていた皆さん宛に、返還の期日が近づくと、「振替案内」などが送付されます。返還関係書類が届かないことがないよう、卒業後に住所・氏名・連帯保証人の変更などがあれば、変更届を提出してください。長期にわたり著しく返還を怠っている場合は、法的手段に訴えることも含め、厳しい処置が取られます。卒業後の返還計画をしっかりと立てて、延滞しないよう注意してください。

奨学支援グループ
問い合わせ先 電話:06-6368-1121 (大代表)

■卒業後もセミナーハウスを利用できます

卒業後も校友となる皆さんは、関西大学のセミナーハウスである彦根荘(滋賀県)、白馬梅池高原ロッジ(長野県)、六甲山荘(兵庫県)を利用することができます。利用を希望する方は、電話でお問い合わせください。関西大学のウェブサイトから、案内、利用状況を確認することができます。

教育後援会(校友・父母会館1階)
問い合わせ先 電話:06-6368-0055

■校友会の輪にご参加を

校友会は、約43万人の卒業生と在学生で組織され、会員の相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的としています。校友会は、学生の学術・文化・スポーツの振興を積極的に支援し、また、さまざまな親睦行事も行っていきます。卒業後の皆さんの住所などは校友会が管理・運営し、大学と共同で利用します。住所が変わった場合には、校友会事務局までご連絡をお願いします。

校友会
問い合わせ先 電話:06-6368-0046~48

ぼうさい甲子園でKUMC表彰

平成26年度の「ぼうさい甲子園」で、社会安全学部生を中心とする学生団体KUMCが安全・安心な街づくりに向けての優秀な取り組みに与えられる「だいいょうぶ賞」を受賞しました。1月11日に代表の岩竹萌美さん(社会安全学部3年次生)が毎日新聞社から表彰されました。学生団体KUMCは、大学で学んだ「防災・減災」の知識を地域社会に発信するという理念で活動。今回、大阪府下のさまざまな小学校での出前授業の取り組みや、高槻市の安満遺跡公園を防災公園として機能させるプロジェクトへの参画などが高く評価されました。

授業では、事前に校区をしっかりと視察した上で教材を作成し、子どもたちに自主的に考えてもらう機会を多く取り入れた45分のカリキュラムを開発しました。

(KUMC顧問 社会安全学部・教授 亀井克之)

「防災未来賞」「ぼうさい甲子園」表彰式・発力強化県民運動ポスターコンクール表



体育会野球部の

小池裕也さん(商2)が、西宮神社の「福男選び」で二番福を獲得

商売繁盛の神様えべっさんの総本社、西宮神社で1月10日、毎年恒例の「福男選び」が行われ、商学部2年次生で体育会野球部の小池裕也さんが、「二番福」を獲得しました。

午前6時の開門とともに、本殿を目指して約5000人の参加者が230mの参道を猛スピードで駆け抜けました。友人に誘われて参加した小池さんは、第一陣で走る108人を選ぶくじ引きで1位を引き、絶好のポジションからのスタート。転んではがしなさいとだけを考えて無心で走り切りました。二番福を獲得してメディアで大きく報道され、成人式の会場や、大学内、関大前通りなどで声を掛けられるようになったとのこと。

高校時代に春の甲子園決勝戦で本塁打を打った小池さん。ここぞという勝負強さの秘訣は「いつも『整理整頓』を心掛けていくくらいです(笑)」。

「今年は20歳になり区切りの年なので、いっそう勉強に、野球に、頑張りたい」と意気込み、卒業生へ向けては「社会に出ていける先輩方が、素晴らしい1年になりますように」と福を振りまいてくれました。



よもやまばなし

関大人 四方山話 ◆「大切な学生目線」

政策創造学部 深井麗雄 教授



3月末で退職します。毎日新聞社での記者生活にピリオドを打ち、政策創造学部の創設と同時に教壇に立ちました。同時に学部の広報委員を務め、結局退職まで関西大学通信の編集などに関わることになりました。35年間の新聞づくりとよく似た面もあって楽しい仕事でした。3万人近い学生・院生が主たる読者ですから、当初から「学生目線」が気になっており、皆さんと一緒に、2009年、2012年の2回、「通信」の大幅な改訂をしました。

それにしても資料を整理していて気付いたのは、ボツになった企画の中にも、結構学生目線のテーマがあることです。例えば「関大生の落ち着く場所一覧」や「入って分かった関大のすごさ」「関大生のおしゃれ特集」などで、今後日の目を見るかもしれません。

編集後記

社会に出て疲れたときの息抜きに、先生方からの推薦の一冊はいかがでしょう。私の推薦はジャレド・ダイヤモンド著、『銃・病原菌・鉄』です。現在、格差社会が問題になっていますが、今の世界の構図がどのように形成されたかを科学的に考察していて興味深いと思います。この本を読むと、運がさまざまなことに大きな影響を持つように感じますが、日々の積み重ねが“運”を引き寄せるんだと思います。卒業・修了おめでとう。今の夢や目標を忘れず、楽しく、悔いのない人生を。(広報委員・環境都市工学部助教 荒木貞夫)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2015年3月17日(年9回発行)

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)